

桃山文化

信長・秀吉の時期を居城の地名にちなんで安土・桃山時代とも呼び、そして、この時代の文化を桃山文化と呼ぶ。桃山文化の特徴は、「豪華絢爛」の一言に尽きる。大名は権威を示すために、視覚的にも訴える華美な絵画・装飾を好み、その題材には分かりやすい花鳥・風景が選ばれた。反面、難解な仏像彫刻は衰退した。

○ 桃山美術

● 建築

戦国時代、城は武備に徹したものであり、山城が多かった。



安土・桃山時代以降、城は城下の人々に威光を広く示す役割も担い、また、支配の利便性を考慮して平山城や平城となった。

→城は中核をなす高層の⁽¹⁾ _____・石垣・郭^{くるわ}をもった。

⇒このような城の建築様式を⁽²⁾ _____と呼ぶ。

◇平山城…小高い丘の上に築城

◇郭…土塁や濠^{ほり}で囲まれた小区画

< 代表的な城郭建築・その他建築 >

姫路城…連立式という複数の天守閣が存在

伏見城…移築した遺構が都久夫須麻神社本殿・西本願寺書院

聚楽第…移築した遺構が大徳寺唐門・西本願寺⁽³⁾ _____



図1 伏見城（復元）



図2 都久夫須麻神社本殿

● 絵画

城郭建築の内部は、権威を視覚的に高めるために装飾された。

→欄間には透し彫の彫刻である欄間彫刻が施され、

また、壁・屏風などには⁽⁴⁾ _____が描かれた。

→⁽⁴⁾ は、金箔地に青・緑を彩色する⁽⁵⁾ _____であった。

⇒⁽⁴⁾ の題材には、深い教養をもたずに理解できる花鳥や風景が好まれた。

◇⁽⁴⁾ …水墨のものと金碧濃彩のものに分かれ、特に後者を⁽⁵⁾ と呼称

◇⁽⁵⁾ …視覚的に訴えやすいため、大名が見栄えや威厳強調に利用



⁽⁴⁾ の担い手の中心は⁽⁶⁾ _____派であった。

⇒安土城などの⁽⁴⁾ を描いた⁽⁷⁾ _____は、

水墨画と大和絵の技法を融合して⁽⁴⁾ を大成した。



図3 欄間彫刻



図4 唐獅子図屏風

< 絵師と代表作 >

狩野永徳…『唐獅子図屏風』『洛中洛外図屏風』

狩野山楽…『松鷹図』『牡丹図』

海北友松…『山水図屏風』

⁽⁸⁾ _____…『松林図屏風』『智積院襖絵』

◇織田信長は、永徳作『洛中洛外図屏風』を上杉謙信に贈呈



図5 洛中洛外図屏風



図6 松鷹図



図7 牡丹図

●印刷

後陽成天皇の勅命を受け、木製活字で印刷・出版された書籍を慶長勅版と呼ぶ。

◇朝鮮侵略で金属活字が伝来し、これをもとに木製活字を作製

○民衆の生活

●茶

⁽⁹⁾ _____ は茶の儀礼を定め、茶の湯（茶道）、特に^{わびぢや}侘茶を大成した。

⇒(9) の侘茶は簡素を重んじ、華やかな桃山文化でも異色を放ちました。

◇⁽¹⁰⁾ _____ …豊臣秀吉の命を受けて（9）が考案・造作した茶室



茶の湯は、諸大名の保護を受けて大いに流行した。

⇒1587 年、秀吉は京都北野で茶会（北野^{おおぢやのゆ}大茶湯）を開き、

（9）を含む茶人を中心に、貧富・身分の別なく民衆を参加させた。



図8 千利休

●芸能

<歌舞伎>

17 世紀初め、⁽¹¹⁾ _____ が、念仏踊りに簡単なしぐさを加えた

⁽¹²⁾ _____ という踊りを京都で始めた。

⇒(12) をもとに女歌舞伎が生まれたが、後に江戸幕府に禁止された。

⇒次いで少年の演じる若衆歌舞伎が流行ったが禁止され、

17 世紀半ばから成人男性だけの野郎歌舞伎になった。

◇かぶき踊り…異様な姿の者「かぶき者」の踊り



図9 出雲阿国

<人形浄瑠璃・小歌>

琉球から渡来した三味線を伴奏に人形を動かす⁽¹³⁾ _____ や、

堺の商人^{たかさぶりゆうたつ}高三 隆 達が小歌に節付けをした⁽¹⁴⁾ _____ が流行った。

<その他>

⁽¹⁵⁾ _____ が各地でおこなわれた。



図10 三味線

●衣食住

衣…小袖の一般化、男女の^{けっぱつ}結髪

食…1 日 3 食の一般化

住…都市：二階建ての住宅、⁽¹⁶⁾ _____ の屋根



図11 小袖



図12 小袖を着用するお市の方